

山行報告書

作成:2006年5月1日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	大日山(1368m) [加越国境]	目的[方法]	残雪の白山展望
期間	2006年4月30日(日)	形態	日帰りハイキング
参加人数	2人		

行動記録:

4/29(土) 晴れ時々曇り、弱風、10 @銀杏峰

宝慶寺いこいの森 TS1(1335) =0:25= あっ宝んど(1400,1455) =0:15=勝山サンブラザ (1510,1520) =1:05= 石川県県民の森(1625)TS2 就寝(1940)

4/30(日) 晴れ時々曇り、中風、10 @加賀甲

起床(400) TS2(540) =0:30= 飯場PKG(610,630) -0:20- 風吹橋(650) -0:05- 真砂(655,705) -0:15- 登山者PKG(720,700) -0:40- 大日山登山口(740,745) -1:05- 北支尾根(850) -0:35- 池洞尾根(925) -0:35- C870m(1000,1015) -1:25- 加賀甲(1140,1225) -1:15- 中又覗(1340,1345) -0:35- 大日山登山口(1420) -1:05- 飯場PKG (1525,1540) =0:30= 山中温泉「ゆけむり健康村」(1610,1720) =0:30= 加賀 IC(1750) =0:35= 南条 SA(1825,1900) =1:40= 守山 PA(2040,2055) =0:20= 豊田東 IC(2115) =0:07= 岩津市民 C(2122)

概念図:



日誌:

大聖寺川の橋架け替え工事の先で「通行止」のロープが張られていたので、少し戻って飯場横の余地に駐車する。日曜日(休工)なので迷惑にはならないだろう。なお、地元の登山者はロープを外して、真砂近くまで進入するようだ。この先、風吹橋手前に駐車可能な広場がある。天照皇大神宮の手前には登山者用PKGがあり、トイレと案内図(山中山岳会)がある。

雪に覆われた林道を詰めて「大日山登山口」に至る。急登の斜面を見上げても、残雪に覆われて夏道が確認できない。滑り易い急斜面を登っていくと、所々夏道が現れるようになった。しかし、それも束の間、残雪と倒木の沢が行く手を阻む。夏道は沢を渡って左手の斜面を斜め上に登っていく(帰路に確認)のだが、我々は残雪が無く登り易そうな右側の斜面を選び北支尾根、池洞山(P667m)経由で峠(下降点)に向かった。結局約1時間40分の「ヤブ漕ぎ」となった。峠(下降点)は「池洞平」という地名の通り、夏道が露出していないにこの時期は迷い易い所だ。(正確なルート地図が必要)

ここからは池洞尾根の一本道で危険箇所もなく、ぶなの林に癒され、背後の山を振り返りながら気分良く歩く。北西に延びる左手の支尾根越しに大日山が見えるようになると加賀甲は近い。山頂は風が強く、雲って白山も見えないので、小屋の中で昼食とする。池洞尾根で追いついてこられたFMCの6人パーティと賑やかなランチタイムを過ごす。

雪道の降りは大股でズンズン降る。峠(下降点)までFMCパーティに先行し、独力で正しいルート(夏道)を見出そうと試みる。杉林の中の平坦地で地形的な特徴がつかめない。結局、FMCの6人パーティの後ろに付いて降ることになった。大部分が雪に覆われており夏道が定かではないが、往きのルートに合流して「この沢を渡って左上に登って行くのか!」と夏道ルートを理解した。

感想:

東に遠望利かず白山展望は叶いませんでしたが、またまた勉強になった収穫の多い山行でした。